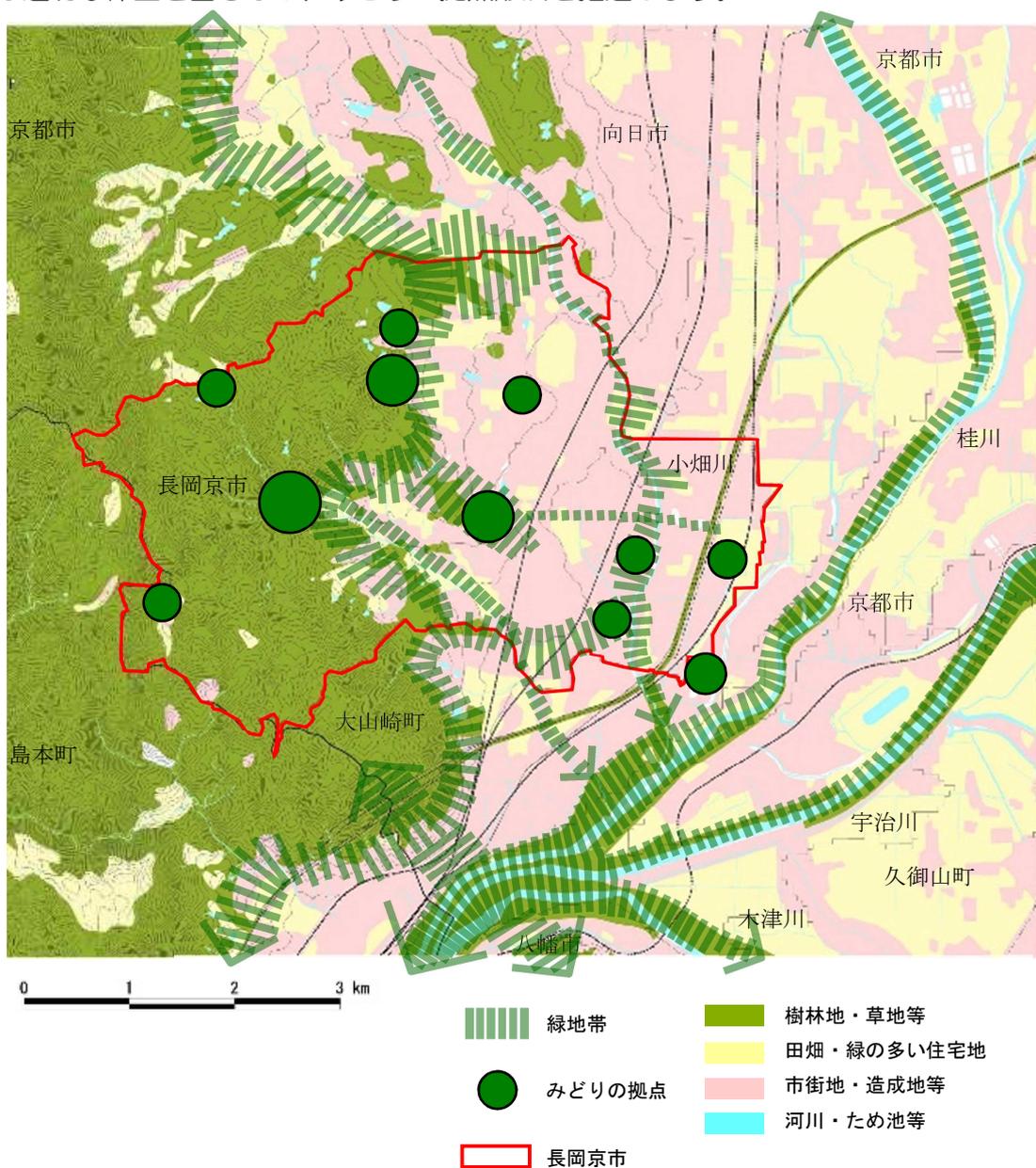


4 みどりの将来像と将来目標

4-1 みどりの将来像

市域のみどりの将来像としては、西山のみどりを背景とし、山麓部のエコトーンの保全に配慮した山麓緑地帯、そこから張り出す丘陵地（光明寺一帯、天神の森一帯）からなる緑地帯と小畑川一帯の緑地帯、さらにそれらが東部の小畑川の緑地帯とつながり、環状の緑地帯を形成することとし、これらの緑地帯に含まれる水辺空間や農地、樹林地については適切な保全を図るほか、みどりの拠点形成を推進します。



4-2 計画フレームの設定

計画フレームは改定前の計画を基本的には踏襲しますが、一部現況にあわせたものとします。

長岡京市第4次総合計画との整合を図るとともに、今後の都市動向を勘案し、人口フレームおよび市街地規模を以下のとおり設定します。

表 人口フレーム及び市街地規模の設定

年次	改定前計画策定時 (H15.4)	中間年次目標 (H27)	現況 (H28.4.1)	目標年次 (H37)
全市人口(人)	77,849	85,000	80,491	80,000
市街化区域人口(人)	76,350	83,500	79,490	79,000
都市計画区域規模(ha)	1,918	1,918	1,917	1,917
市街化区域規模(ha)	960	960	958	958

※市街化区域人口のうち市街化調整区域人口は、「都市計画年報(社)都市計画協会」により、約1,000人に推計。

市街化区域内での公園緑地等の確保、生産緑地の保全、民有地樹林の保全、その他公共施設等の緑化により、市街化区域内においては20%の緑地を、また、周辺農用地等を含んだ目標としては、30%の緑地の確保を目指します。

さらに、都市計画区域全体としては、市域の4割の緑地を有する西山全体の緑地の保全を図り、市街化区域内の緑地と合わせて全体で5割の緑地を確保します。

表 緑地の確保目標水準

目標年次における緑地の確保の目標量			
将来市街化区域面積に対する割合	概ね	290ha	30%
将来都市計画区域面積に対する割合	概ね	1000ha	50%

一人当たりの都市公園面積は改定前計画策定時(H15.4)には1.8㎡/人でしたが、現況(H28.4.1)は3.1㎡/人となっています。現時点では、目標年次(H37)には4.5㎡/人を目指すとしますが、西山公園の整備計画見直しと合わせて目標水準についても検討が必要です。また、その他学校グラウンドや小畑川河川敷などの公共緑地を含め、都市公園等として14.2㎡/人の水準の確保を目指します。

表 公園緑地等の施設として整備すべき緑地の目標水準

年次	改定前計画策定時 (H15.4)	中間年次目標 (H27)	現況 (H28.4.1)	目標年次 (H37)
都市公園(㎡/人)	1.8	1.9	3.1	4.5
都市公園等(㎡/人)	10.2	11.8	11.1	14.2

改定前計画策定時の目標を踏襲し、緑化重点地区における一人当たりの公園面積の目標は、1.00㎡/人、緑被率は15.0%を目指します。

表 緑化重点地区の公園整備水準と緑被率

区分	改定前計画策定時 (H15)	現況 (H28)	目標年次 (H37)
公園整備水準(㎡/人)	0.57	0.83	1.00
緑被率(%)	10.8	9.4	15.0